

22 へき地教育の充実 (小・中)

— 少人数の特性を生かした学習指導, 合同・集合・交流学习の推進 —



へき地教育では、へき地の特性である「へき地性」「小規模性」「複式形態」を生かし、地域に根ざした創意ある教育課程を編成・実施し、主体的で創造性豊かな児童生徒の育成に取り組むことが大切である。

このため、へき地の学校においては、児童生徒の社会的自立を目指したキャリア教育の視点に基づき、少人数・複式学級における学習指導の深化・充実を図るとともに、合同学習、集合学習、交流学习を積極的に推進し、児童生徒の自主性・社会性を育むことが必要である。

ここがポイント(取組の重点)

- 社会性やコミュニケーション能力の育成について課題がある。
- ◇ICTの活用や様々な学習形態の工夫

(1) へき地の特性を生かした体験的な学習の充実を図る

- ① **地域の特性**を生かし、児童生徒一人一人の実態に応じた**体験的な学習**を実施する。
- ② 地域のよさを知るとともに、地域に誇りと愛着のもてる地域の文化、環境、歴史についての**体験活動**を取り入れた学習の工夫改善に取り組む。
- ③ 地域と一体となった**勤労体験的活動**や**社会体験活動**を推進するため、「人材リスト」を作成するなど**地域の人材を積極的に活用**する。



(2) 少人数・複式学級における学習指導の改善・充実を図る

- ① **地域や学校の特性**を生かし、地域に根ざした教育課程を編成するとともに、ICT等を活用した個別最適な学び・協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善・充実に取り組む。
- ② **少人数・複式指導**における**授業研究**を行うとともに、それらについての成果を**全職員で共有**する。
- ③ **ICTの活用**を促進し、児童生徒が多くの学習情報に接する機会を増やすとともに、情報発信の機会を設定することで、**情報活用能力や発表力**を育成する。
- ④ 県立総合教育センターのへき地教育に関する実践の事例資料や、「へき地・複式学級設置校赴任前基礎講座」、夏季短期研修の「**小中へき地校・複式学級担任講座**」、移動教育センター講座等を活用し、指導方法の工夫・改善に取り組む。
- ⑤ 複式学級においては、当該児童生徒に、未履修事項が生じないように、**適切な教育課程**を編成する。

(3) 合同学習、集合学習、交流学习等を積極的に展開する

- ① 音楽や体育等における**合同学習**、近隣の小規模校同士の**集合学習**を実施し、**集団での学習**の充実を図る。
- ② 修学旅行や校外学習の機会やICT等を活用して、他市町村や平地校との**交流学习**を積極的に実施し、児童生徒の自主性、社会性や発表力の育成に取り組む。
- ③ 近隣の幼・小・中学校と**日常的に情報交換や意見交換**を行うとともに、**授業交流、合同授業研修会等**を強化し、実践研究の充実に取り組む。

■関連資料■

- | | | |
|---------------------------|--------------|----------|
| ◎『へき地・複式・小規模学校の実践事例集』 | 全国へき地教育研究連盟 | 平成30年度版 |
| ◎『調査研究報告書』 | 沖縄県立総合教育センター | 平成26・27年 |
| ◎『複式学級担任ハンドブック』 | 沖縄県立総合教育センター | 平成19年 |
| ◎『へき地・複式学習実践資料』(第1集～第12集) | 沖縄県立総合教育センター | 平成10～21年 |